



開催報告

1. 趣 旨

全国の中学生に文化芸術活動の場を提供することで、豊かな情操を育み、未来に繋がる創造力を高める。
また、個性豊かな表現活動を通じて、芸術文化研究活動の充実・発展を図る。
さらに、各都道府県担当教師および地域団体指導者の交流を図り、それぞれの分野において、指導力を高める研修の場とするとともに、中学生の地域を越えた相互交流・親睦を図り、文化活動を通して自ら意欲をもって探究する意思を育てることで、中学生の文化芸術活動の振興に資する。

2. 主 催

・全国中学校文化連盟 ・NPO 法人 日本地域部活動文化部推進本部（Pocca）

3. 共 催

・子ども若者参画による制作チーム ※高校生を主体とする企画制作プロジェクトチームを今大会を起点に編成

4. 後 援

文化庁、全日本中学校長会、静岡県、静岡県教育委員会、教育新聞社、日本教育新聞社、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、朝日新聞静岡総局、毎日新聞静岡支局、読売新聞浜松支局、産経新聞社静岡支局、NHK 静岡放送局、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、K-MIX、FM Haro!

5. 期 日

令和7年 8月21日（木）～22日（金） @菊川文化会館アエル 1日目 10：30～16：30 / 2日目 10：30～16：40
※生徒交流会：21日 19時～20時30分 @つま恋リゾート彩の郷・コンベンションホール
※ステージリハーサル@アエル：20日（水）・21日夜（木）・22日朝（金）

6. 会 場

【オープニング・エンディング】【舞台発表】【展示発表】 菊川文化会館アエル （〒439-0018 静岡県菊川市本所 2488-2）
<http://kikugawa-ael.jp/>

【生徒交流会】 つま恋 リゾート 彩の郷 （〒436-0011 静岡県掛川市満水 2000）
<https://hmihotelgroup.com/sainosato/>

7. 大会参加者数・出品点数 ※参加地区、団体（学校、地域団体）など

- ① **舞台発表の部** ※吹奏楽 合唱 演劇 郷土芸能 放送・映像作品 ダンス その他
【参加校 / 総人数】 15 地区、22 団体（学校、地域団体）、**485 名**
【参加地域・加盟地区】 岩手県、千葉県、東京都、関東ブロック（演劇）、神奈川県私立、富山県、徳島県、鳥取県、岡山県、山口県、福岡県、長崎県、沖縄県、札幌市、NPO Pocca（全国）
- ② **展示発表の部** ※美術、書道、そのほか（新聞 家庭科 など）
【参加地域 / 出品点数】 16 地区、**277 作品**（内訳：美術 126 作品、書道 106 作品、そのほか 45 作品）
【参加地域・加盟地区】 岩手県、栃木県、東京都、神奈川県私立、富山県、徳島県、鳥取県、岡山県、山口県、福岡県、長崎県、大分県、沖縄県、札幌市、金沢市、NPO 北海道
- ③ **生徒交流会** ※企画内容、会の進行（地域団体の中学生が担当）など、すべて制作チームが制作。
【参加校 / 参加総人数】 10 地区、13 団体（学校、地域団体）、**380 名**
【参加地域・加盟地区】 岩手県、千葉県、東京都、関東ブロック（演劇）、富山県、徳島県、山口県、長崎県、沖縄県、札幌市

8. 大会テーマ

感謝☆感動

- 【テーマの趣旨】 ◇ 学校や部の理想、夢、目標を「ふじ」として理想や目標の頂（高み）を目指す！
◇ 各地に「ふじ」が、アエルに集結、一つの大きな「ふじ」を生み出す！
◇ 地域を越えた交流の中から、中学生が築く「わかふじ」を会場全体で創造

第 25 回 全国中学校総合文化祭 わかふじ大会 ～会場：菊川文化会館アエル～

舞台発表（大ホール）



舞台発表（小ホール）



展示発表（展示ロビー＆展示室）



第25回 全国中学校総合文化祭 わかふじ大会

(15) 県内総合

令和7年(2025年)8月22日(金曜日)

青森 県

全国中学校総合文化祭 菊川で開幕



参加者へのおもてなしの気持ちを伝える生徒代表の安田さん(中央)＝菊川市の菊川文化会館アエル

「文化愛する気持ち一つに」

のが目的で、県内での開催は初めて。開会式典では、大会のおもてなし部リーダーを務める市立菊川東中3年安田咲希さんが「文化を愛する気持ちを一つにし、新たな扉を開くべく、わかふじ大会を開催します」と開幕を宣言した。

今回は教員の負担を減らすため、全国中学校文化連盟とNPO法人日本地域部活動文化部推進本部(掛川市)が共同で開催し、県西部の中高生が企画運営の中心を担った。菊川、掛川市などで撮影した中学生主演映画「遠州報徳と我(わ)が故郷」も21日に前編、22日に後編を上映する。

奇襲実行委員長は「子どもたちが自分たちの古里や未来を文化の力で豊かにし、地域を盛り上げていくきっかけになる大会にした」と語った。

(掛川支局・瀬島義孝)

舞台や展示発表

21都道府県の中学生が文化系の活動発表を行う第25回全国中学校総合文化祭わかふじ大会(静岡新聞社・静岡放送後援)が21日、菊川市の菊川文化会館アエルで始まった。22日まで、演劇や合唱、郷土芸能などの舞台発表と美術、書道などの展示発表を行う。

中学生が地域を越えて文化活動の交流と発信を図る

静岡新聞 令和7年(2025年)8月22日(金曜日)記事より

中日新聞 令和7年(2025年)8月22日(金曜日)記事より

幻想的な舞台を披露する中学生＝菊川市の菊川文化会館アエルで



全国中学校総合文化祭 菊川で開幕

文化系クラブなどに所属する全国の中学生が日頃の活動の成果を発表する「第25回全国中学校総合文化祭・わかふじ大会」(中日新聞東海本社後援)が21日、菊川市の菊川文化会館アエルで始まった。22日まで演劇などの舞台発表や美術作品を展示する。

運営には地元の中高生らが協力し、司会進行や案内役などで出演者や来場者をもてなしている。

舞台発表には約30団体の計約500人が出演し、郷土芸能や創作演劇、朗読劇、合唱などを披露。21日は沖縄県石垣市大浜中の生徒たちが地元で伝わる「大浜村豊の舞遊び」を演じたほか、静岡県中西部の中学生らが出演した短編映画「遠州報徳と我が故郷」E Discode2 私たちの未来」の上映などがあつた。作品発表では、油彩や水彩画、書、学校新聞など200点以上が並んでいる。

文化祭は今回から、文化活動改革による地方創生を目指すNPO法人・日本地域部活動文化部推進本部(略称・ポッカ)が、全国中学校文化連盟と合同で主催した。

(夏目貴史)